



校長室だより

アイスの子

志布志市コミュニティースクール

志布志市立香月小学校

令和2年4月10日(金) No. 1

ごあいさつ ～ 「強く 正しく 素直な子」をみんなの手で! ～

令和2年度が始まりました。本年度は、児童301名、教職員29名でのスタートとなりました。新しい教室で、新しい友達、そして、新しい先生方と共に、勉強や運動に精一杯励んでほしいと思います。

右の写真は、正門右にある校訓の碑です。これは、昭和42年2月26日に学校創立10周年記念として作られたものです。昭和から平成、そして、令和の時代にも、校訓「強く 正しく 素直な子」を香月小学校の目標として、変わらず大事にしていきたいと思います。



桜の花に彩られた開校10周年記念碑

そこで、本年度は、この校訓そのものを学校の教育目標に据えました。短く、教師も子供たちも覚えやすく、常に意識しながら日々の生活を送ってほしいと考えたからです。始業式では、「強い子」「正しい子」「素直な子」はどういう子供だろうかと問いかけ、そのことを常に考え、行動できる子供であってほしいと話しました。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

校長室だより 「アイスの子」の発行にあたって

保護者の皆様方には、月に1回「学校だより」をお届けし学校の情報をお届けしていますが、さらに細やかな情報提供に努めていきたいと考えおり、不定期便ではありますが「校長室だより」を発行いたしますのでよろしくお願いいたします。タイトルにつきましては、これまで、折に触れ子供たちに話してきました「**アイスの子**」からとりました。



- ア**は「**あいさつ**」・・・ あいさつは人間関係構築の基本。香月小では「立ち止まってあいさつ」運動を進めています。相手を大切に思い、相手の目を見て丁寧にあいさつできる子供になってほしいと思います。
- イ**は「**命を守る**」・・・ かけがえのない自分の命を大切にしてほしいと願います。また、人権意識をしっかり持ち、自分だけでなく他人の命を尊重できる子供に育ててほしいと思います。
- ス**は「**素直な心**」・・・ 香月小の校訓は「強く、正しく、素直な子」です。人間は、素直な心を失ってしまった瞬間に成長できなくなります。心をスポンジのように何でも吸収できる状態にして多くのことを学び取ってほしいと思います。そうすることで、多くの知識を得、それをもとに新たな発想を生み出すことができるのです。

土・日の過ごし方には十分留意してください

新型コロナウイルスが、国内外で猛威を振るう中、鹿児島県においては学校を再開することができました。このことの幸せをかみしめながら、わたしたちは、日々を大事に過ごしていきたいものです。しかし、7都府県に「緊急事態宣言」が発出され、県内でも4例目の感染が確認されており油断はできません。

土・日は、「密閉」「密集」「密接」の3密を避けると共に、「不要不急の外出は避け」、特に県外への行き来は控え、大人も子供も、人との接触を減らす行動をお願いいたします。



